

令和2年度以降の超深地層研究所計画（案）に対する意見について

- 日 時：令和元年12月2日（月）10：00～10：30
- 場 所：県庁 環境生活部長室
- 来訪者：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
東濃地科学センター 伊藤所長、松浦課長
- 県 側：服部環境生活部長、青竹次長、居波環境管理課長

- (機構)・令和2年度以降の超深地層研究所計画（案）については、10月の安全確認委員会で公表し、地元住民等へ説明を行ったうえで、別添のとおり取りまとめ、本日、文書を持参した。
 - ・同様に本日、瑞浪市と土岐市へも持参する。
 - ・関係自治体からの意見を伺ったうえで、機構として最終決定する。
 - ・埋め戻し自体に異論はなかったが、地元からは工事の安全に関する意見が多かった。工事監理をしっかりとやってほしいとの意見に対しては、隣接する建物に職員を常駐させ工事監理を行うと説明した。
 - ・大規模な埋め戻しは前例がないので慎重かつ安全に実施したい。
- (県)・今年度の埋め戻し作業の予定は。
- (機構)・埋め戻し自体は2月か3月になる予定。そのための準備作業を年内に着手する。
 - ・平日の坑道見学は12月26日で終了する。
- (県)・関係自治体とも協議したうえで回答させていただく。